

# 令和6年度 自己評価結果公表

浄元福祉会くわこぼ保育園

## 1、評価項目の達成および取組状況 \* 実行しているもの ● 改善していきたい点

評価基準 1. よくできている (85%) 2. まあまあできている (65%) 3. あまりできていない (50%) 4. 全くできていない (25%)		
評価項目	取組状況	評価点
保育の計画性	* 浄元福祉会の方針・理念に基づき子ども主体性保育に変えていこうと試み計画し子どもの意見を取り入れながら、環境も構成した。 ● まだまだ変革期で勉強会を重ねながら子ども主体を目指していく	1.8
保育の在り方 幼児への対応	* 子どもたちとともに考え活動を行いその発達を見て、適切な援助、子どもたちに寄り添った声かけ、安心できる環境を設定する。 ● 発達障害の子どもたちに合った対応、子どもたちの意見のまとめ方、引き出し方が適切であったか？課題である	1.6
地域の自然や社会と のかかわり	* 夏野菜栽培や収穫、その野菜や手作り味噌を使っての地域交流会を行い高齢者の方と関わりを持てるよう努めた。 ● 小学校との連携は幼保小会議等あるがしっかりした繋がりがなく卒園した後の連携が少なくスタートカリキュラムの必要性を感じる	2.0
保育者としての資質 や能力・良識・適正	* 研修で研鑽を積み、一人一人に合った保育、子どもを尊敬する保育を心掛け、子どもの声を取り入れていけるようになっている。 ● 保育士自身が環境であることを意識し、部屋の清掃、物の管理に課題があり、今後改善していく。	1.6
保護者への対応 守秘義務	* 毎月各クラス写真付きクラスだよりを発行したり、連絡帳を使い送迎の時、日頃の様子を伝え安心して頂く。守秘義務については職員は契約書を書き家庭の情報を漏らすことがない様厳守する。 ● 保護者に十分寄り添えているか？反省する面もある。	1.6
保育者の専門性に関 する研修・研究への意 欲・態度	* 研修には積極的に参加、園内でも新しい保育情勢の変化等や問題があると研修を行い、また回覧でも行っている。 ● 環境に対する教育的意義などはあまり関心を向けていなかった。	1.7
地域における子育て 支援	* 支援の姿勢は学び、理解し支援センター等への情報共有、連携をとって支援につなげている。 ● 地域に自園の子育て支援事業を紹介するような機会が少ないので今後、努力していきたい。	2.3

## 2、園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果及び改善したい点

<p>公立から浄元福祉会として発足して2年となり理念、方針である {子ども主体性保育} に近づこうと職員一同、研鑽し日頃の保育、また行事等に関しても子供たちの意見を聞きながら進めていき、職員も子どもと共に楽しみ成長を感じる。どんな問題も全員で考え、共有し子どもたちに関わっている。まだ変革期の始まりで十分ではない面も多々あるので、勉強を重ねる必要があり、小学校との連携、育児相談等の充実も今後の課題である。また自然環境を生かした保育、五感を生かした保育で子ども達の感性を引き出していきたい。</p>	1.8
---	-----